

鳥取県病原微生物検出情報

(令和 8 年 7 月検出分 検体採取 令和 8 年 6 月及び 7 月)

令和 8 年 8 月 21 日

鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体 42 件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、ヒトメタニューモ、インフルエンザ-A 型及び B 型、パラインフルエンザ 1-4、RS-A 型及び B 型、ヒトボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナ NL63、コロナ OC43

○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

○検出結果

42 件中 37 検体（88%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：18 件、ヒトボカ：11 件、ヒトメタニューモ：11 件、RS-B：1 件、SARS-CoV-2：3 件、パラインフルエンザ 1 型：3 件、パラインフルエンザ 3 型：2 件、アデノ：4 件、エンテロ：6 件であった。令和 8 年 1 月から令和 8 年 7 月検出分と合わせた年齢別検出数は表 1 のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表 1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和 8 年 1 月～7 月検出分）

病原体年齢別検出数(7月検出数/累積)																
年齢	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≧		合計	
標本数	22	162		10		10	1	29	5	47	8	66	6	34	42	358
ライノ	16	94		3		1		9	1	10		11	1	2	18	130
ヒトボカ	10	34		1									1	1	11	36
ヒトメタニューモ	3	10					1	2	1	3	3	6	3	4	11	25
RS-A		4										1		3		8
RS-B		4								1	1	3		4	1	12
SARS-CoV-2	1	5							1	3	1	11		6	3	25
パラインフルエンザ 1	3	4					1								3	5
パラインフルエンザ 2																
パラインフルエンザ 3		1							1	1	1	2			2	4
パラインフルエンザ 4				1												1
アデノ	4	19										1			4	20
エンテロ	6	6								1					6	7
インフルエンザ A 型		6		2		2		3		3		2		1		19
インフルエンザ B 型		3		4		4		4		3		5		1		24
コロナ NL63		7								2		1				10
コロナ OC43		21						4		5		6		2		38
マイコプラズマ								1								1
検出せず		19		1		3		6	1	15	2	20	2	11	5	75

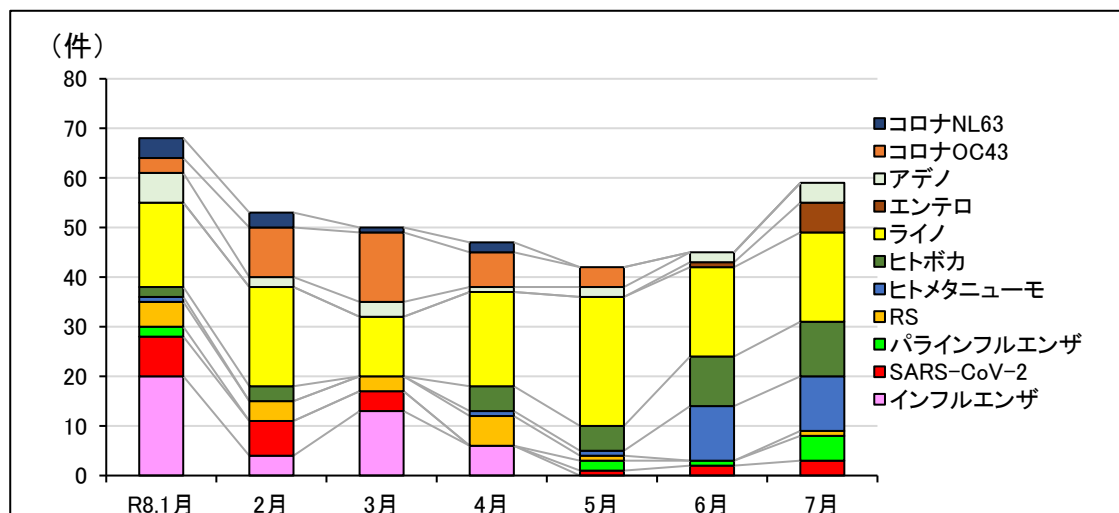


図1. 急性呼吸器感染症の月別ウイルス検出状況（令和8年1月～7月検出分）

アデノウイルスの4件について、C種1型が2件、C種2型が1件、C種5型が1件であった。C種1型、2型及び5型は、急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の9件について検査を行ったところ、ノロウイルスGⅡが1件検出され、遺伝子型はGⅡ.P16-GⅡ.4であった。アデノウイルスでは、感染性胃腸炎の原因ウイルスとされるF種41型が1件検出されたほか、C種2型が2件検出された。このほかサポウイルスが1件検出された。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の5件について検査を行ったところ、A群溶血性レンサ球菌が3件（T型別4型：1件、不明：2件）分離された。4型は咽頭炎で検出される型である。

4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の1件について検査を行ったところ、A型が1件検出された。症状は発熱、下気道炎、咳嗽、鼻汁であった。

5 手足口病

臨床診断名が手足口病の10件について検査を行ったところ、エンテロウイルスが10件（CA6型：6件、型不明：4件）検出された。CA6型は手足口病の原因となるウイルスである。

6 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の2症例（6検体）について検査を行ったところ、エンテロウイルスが3件（CA6型：1件、型不明：2件）検出された（表2）。CA6型は無菌性髄膜炎の原因となるウイルスである。このほかヘルペスウイルスの7型が1件検出された。

表 2 無菌性髄膜炎の症例別ウイルス検出状況

症例 No.	年齢	材料	検出ウイルス
1	1 歳	咽頭拭い液	エンテロウイルス (CA6 型)
		便	エンテロウイルス (型不明)
		髄液	エンテロウイルス (型不明)
2	6 歳	咽頭拭い液	(－)
		便	(－)
		髄液	ヘルペスウイルス (7 型)

7 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の 2 件について検査を行ったところ、アデノウイルスの D 種 37 型が 2 件検出された。D 種 37 型は流行性角結膜炎の原因となるウイルスである。